

LIBRARY

No.9 3 vol2



茨城県立神栖高等学校 図書委員会 令和3年12月23日発行



新井翔太先生

しげの秀一『頭文字D』



漫画にはなりますが、私を車好きにした最大の要因はこの本にあります。幼稚園の頃、家にあったこの漫画をたまたま目にした私は、ストーリーこそよく分からないものの、車がドリフトして走っている様子を見て、あまりのカッコよさに衝撃を受けました。それ以来、頭文字Dに没頭したことを覚えています。この本は私を車無しでは生きていけないくらいの車好きにしてくれました。

しげの秀一『頭文字D』



この本しか知らないのか、という印象かもしれませんが、やはりおすすめは頭文字Dです。車の走行シーンも多いのですが、その中にもしっかりとストーリーがあり、ドラマもあります。特に後半に進むにつれ感動シーンが多いです。コースとなる峠も、本物を使用しているので、聖地がたくさんあります。

今宮慎一郎先生

ジャン・アンリ・ファール『昆虫記』



小さい頃から生物（動物）が好きだったので興味を持って読みました。世界中には不思議な生態の昆虫がたくさんいることに驚いたことを覚えています。理科が好きになって、理科のおもしろさを知ってもらいたいと教員を目指すようになったきっかけの一つだと思います。

荒川弘『銀の匙』



これを読んで、農業高校に行ったら別の職業に就いていたかも？と考えた一冊です。農業の大切さについて知ることができると思います。

大和田竣軌先生

鎌池和馬『とあるシリーズ』



今も続いているラノベのシリーズです。自分がラノベを読むきっかけになった作品です。現実世界にもあるような科学技術と魔術が混ざった作品です。自分も高校生の時に夢中になりました。

若林正恭『ナナメの夕暮れ』



オードリーの若林さんの書いた本です。最近文庫版も出ました。日々の生活の中で、もやもや考えていることが言語化されて、心の中にすんと落ちる感覚を体験しました。物事を考えこむような人にお勧めします。

編集後記

今回は、地歴公民科と理科の先生方に、「人生を変えた本」「おすすめの本」を紹介していただきました。今のみなさんに近い歳の頃に、「人生を変える一冊」に出会った先生が多かったですね。

是非みなさんも、この冬何か一冊手に取って読んでみてはいかがでしょうか？

最後に、LIBRARY発行に際しまして、原稿をお寄せいただきました先生方、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。